

フィッティングの転送方法と その転送に関する互換性



Phonak Target™には“フィッティング転送”という機能があります。別の補聴器に、これまで使用していた補聴器と同じような聞こえ方にしたい時などに使用できる機能です。全く同じ特性になる訳ではありませんが、これまでの音色にできるだけ近づくようにフィッティング内容が転送されます。

注意事項：

- ※ エクスポート実行時とインポート実行時の Phonak Target のバージョンが同じであるか確認ください
- ※ 以前のフィッティングソフト iPG から転送については別途資料を参照ください
- ※ Phonak Target からエクスポートしたファイルを iPG でインポートすることはできません

～フィッティング転送を実施する前に～

フィッティングデータが別のPCにある場合、予めエクスポート作業を行っておきます

<p>a. 転送元となるフィッティングをエクスポートします。①【フィッティング】>②【設定を転送】>③【エクスポート…】をクリックします</p>	<p>b. ①【閲覧】をクリックし、転送ファイルの保存先を指定して②【保存】をクリックします</p>

～フィッティング転送方法～

1. Phonak Target を起動し、新規顧客作成（または新しいセッションを開始）します
2. 転送先となる補聴器を接続（検出）します

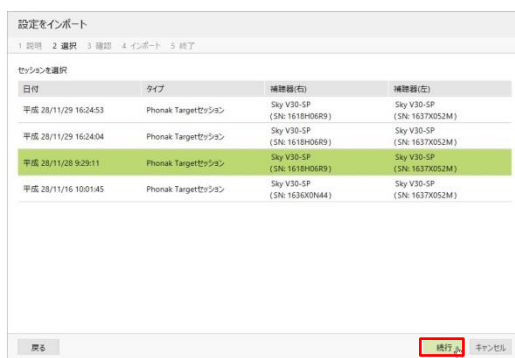
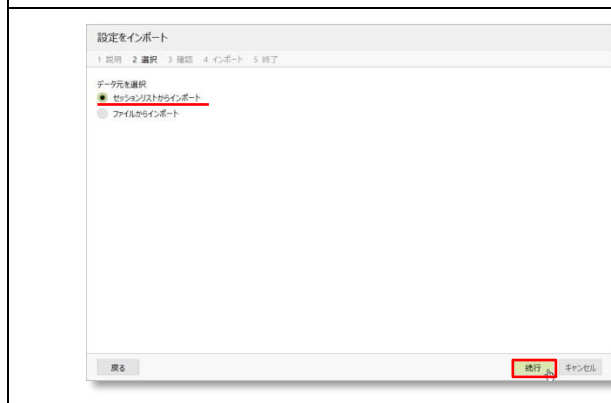
フィッティングセッションから引用する場合：

3. ①【フィッティング】 > ②【設定を転送】 > ③【インポート...】をクリックします



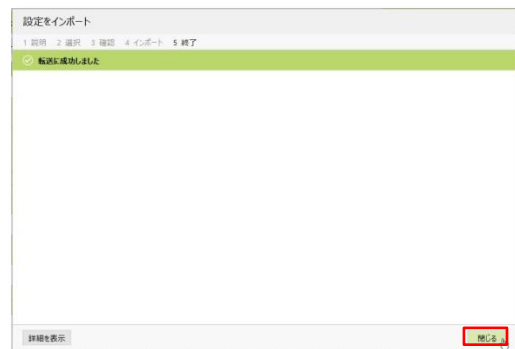
- a. ①【フィッティング】 > ②【設定を転送】 > ③【インポート...】をクリックします

- b. 【OK】を押します



- c. 【セッションリストからインポート】に●が付いているのを確認し【続行】をクリックします

- d. リストから転送したいフィッティングデータを選択し【続行】をクリックします


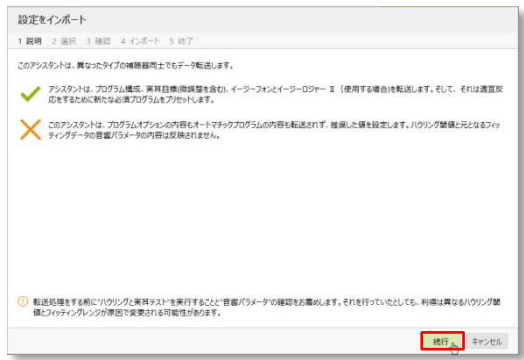
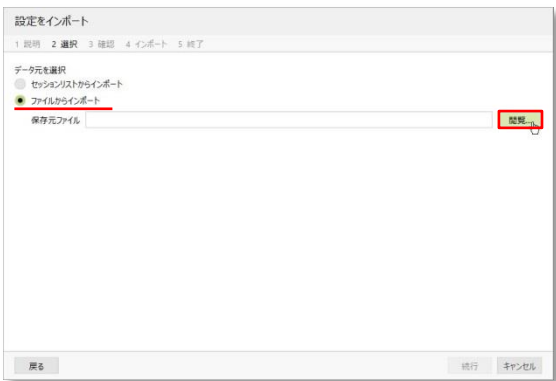
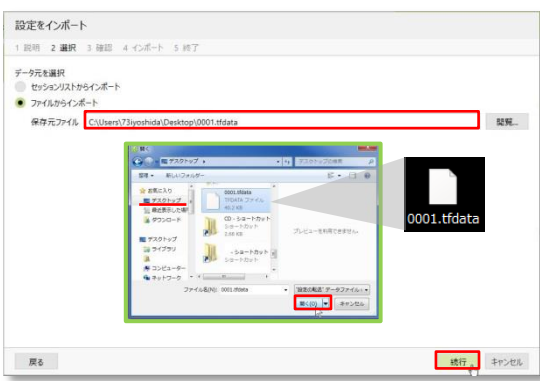

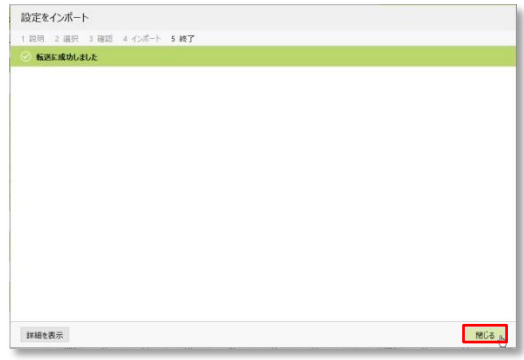


- e. 転送元情報が表示されます。内容を確認し【続行】をクリックします。転送が開始されます

- f. 転送が完了し、転送結果が表示されます

(エクスポートされた) ファイルから引用する場合：

3. ①【フィッティング】>②【設定を転送】>③【インポート...】をクリックします

 <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>	
<p>a. ①【フィッティング】>②【設定を転送】>③【インポート...】をクリックします</p>	<p>b. 【OK】を押します</p>
	
<p>c. 【ファイルからインポート】を選択し、●が付いているのを確認し【閲覧】をクリックします</p>	<p>d. 既にエクスポートしているファイルを開き、ファイル名が入っているのを確認し【続行】をクリックします</p>
	
<p>e. 転送元情報が表示されます。内容を確認し【続行】をクリックします。転送が開始されます</p>	<p>f. 転送が完了し、転送結果が表示されます</p>

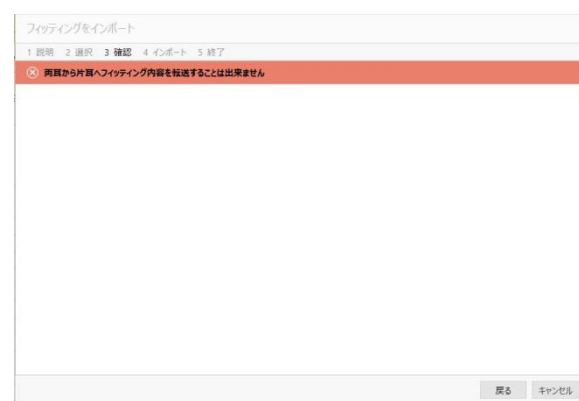
4. これで転送作業は終わりです。転送されるのは利得調整内容とプログラム構成のみです。その他の項目は初期設定に戻ります。
(例：ハウリングと実耳テストの結果は転送されませんので、再度行ってください)

～転送に関する互換性～

✔ フィッティング転送可能な組み合わせ	
転送する側	転送される側
片耳 ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ 両耳
片耳 (例: 右側) ⇒	⇒ 片耳 (例: 右側)



✘ フィッティング転送できない組み合わせ	
転送する側	転送される側
片耳 (例: 右側) ⇒	⇒ 片耳 (例: 左側)
両耳 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	⇒ ⇒ ⇒ 片耳



～MEMO～